

~Manual~

## 現金とカード

シティバンク銀行&amp;ANA VISA カード愛用 高井 哲彦

### ■お金はリスク分散を

学生にはVISAデビットカード、Masterクレジットカード、予備カードの3枚組と現金を分散して持つことを勧めます<sup>1</sup>。

- ① メインの財布に VISA デビットカードと現地通貨 5 千円以下を。服のボタン・ファスナー付ポケットに。旅行ならば到着空港の ATM からカードで 2 泊分の現地通貨を。
- ② サブの財布に Master クレジットカードと現地通貨 1・2 万円相当を。旅行ならば手鞆の奥に帰国まで温存。留学ならばパスポートと一緒に自宅の鍵付引き出しに。
- ③ セキュリティポーチに予備カードと米ドル 100・200 ドルを。旅行ならば大型鞆の奥底に帰国まで温存。留学ならば鞆ごと自宅の鍵付クローゼットに。

### ■大金を持ち歩かない

海外在住者は 5 千円以上の現金を持ち歩きません。高額紙幣は、街の商店や食堂では敬遠され、滅多に目にしません。先進国では、数百円の買物でもカードを多用します。

旅先でのトラブル時も、2 泊分を生き抜ける程度の現地通貨(途上国 1 万円、先進国 2 万円)があれば十分でしょう。ATM が故障中の田舎や連休中でも、3 日目にはどうにかかります。インドの田舎にも ATM はあります。ウェスタンユニオンで日本から海外送金すれば、アフリカの地方都市でも時差なく海外送金を受け取れます。

### ■貴重品の紛失・盗難に備える

貴重品を失ったときの対策を予め考えましょう。全財産を財布ひとつに集中させてはいけません。カード番号と緊急電話番号は必ず控えておきましょう。カードやパスポート、身分証明書、旅行保険証書は、紙と PDF でコピーを取っておきましょう。旅行保険やカードの緊急電話番号は必ず、携帯電話や WEB 住所録、メモ帳等に重ねて登録しておきましょう。

### ■VISA デビットカードをメインカードに

VISA デビットカードはメインカードにできます。買物では VISA カードとして、支払いと同時に銀行口座から即時決済され、海外 ATM ではキャッシュカードとして現地通貨を引きだせます。ただし、銀行口座残額の定期確認が欠かせません。

口座開設は、自宅・実家の近くに支店・ATMを持つ銀行が良いかもしれません<sup>2</sup>。

<sup>1</sup> 推奨は、三菱東京UFJ/りそな銀行 VISA デビットカード(札幌市内や実家近くにも支店)、Mileage Plus Saison/JAL navi Master カード(海外旅行保険が自動付帯)、イオン/楽天銀行 VISA デビットカードまたは新生銀行キャッシュカード(ネット銀行)の 3 枚組。

<sup>2</sup> 三菱東京UFJ銀行、りそな銀行、あおぞら銀行、スルガ銀行、イオン銀行、楽天銀行、ジャパンネット銀行、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行等(2015年時点)。要確認。

銀行口座残高を上限に月額限度額がなく、利子がかからないのが長所です。航空券等、高額な買物にも使えます。クレジットカードのような不正取引・海外旅行等の保険がないのが短所です。紛失時の再発行は、日本住所にしか発送されないため、実家等の仲介が必要です。

#### ■Masterクレジットカードを買物のサブに

海外でクレジットカードは必須です。月ごとに銀行口座から後払いで引き落とされます。無料カードでなく海外旅行保険(医療保険・救援者保険)が自動付帯するものを勧めます<sup>3</sup>。

VISA デビットカードを持っているなら、クレジットカードは Master にして、2 大ブランドを 1 枚ずつ持つのが良いでしょう。先進国では両方使えますが、機械の磁気読み取り性能が悪く、複数のカードを代わる代わる試す場面が多々あります。

学生の場合、月 10 万円等の使用限度額があるため、メインカードにできません。他方、クレジットカードは、トラブル時の保険が長所です。スイスでカードを紛失した際、翌日にはホテルに代替カードを届けてくれたことがあります。また、南アフリカの商店で番号をスキミングされ不正使用されたときは、保険で払い戻されたことがあります。

#### ■紛失・盗難・事故に備え予備カードを

週末・夜間・旅行中などに無人 ATM を使うときは、メインカードを使わず、サブカードを使うことを勧めます。機械の故障でカードが ATM に飲み込まれてしまうトラブルが少なくないからです。即座に電話報告してカードを止めても、再発行には日本を経由する必要がありますが時間がかかります。長短所が異なるものが良いですが、選択肢が 4 つあります。

- ① VISA デビットカードを、長短所の異なる別銀行でもう 1 枚。
- ② 特定銀行の国際キャッシュカード<sup>4</sup>。国内外の ATM から現地通貨を引き出せます。
- ③ 海外銀行の VISA デビットカード(後述)。
- ④ ご両親名義のクレジットカードの家族カード<sup>5</sup>。

#### ■海外現地で銀行口座とデビットカードを作る

1 年以上の長期滞在なら、海外で銀行口座を開くのも選択肢です。現地で奨学金・収入が振り込まれたり、現地での銀行口座引き落としが必要だったりする人は必要です。大学が口座開設に協力したり、住居契約や公的証明に使ったりすることもあります。

#### ■緊急に現金が必要になった！

◇Western Unionでは、身分証明書を登録すれば、途上国でも即日現金を送受できます。カードも口座も不要です。世界 200 ヶ国に 27 万の取扱店があり、目下拡大中です<sup>6</sup>。ケニアからコンゴに送金したときは 30 分以内に届きました。ファミリーマート(Famiポート)やセブンイレブン(セブン銀行口座の事前開設が条件)からも海外送金できます。

◇トラベラーズチェックは、もはや勧めません。先進国でも日本でも、買物でも両替でも、取扱いが激減しています。

<sup>3</sup> 推奨は Mileage Plus Saison Master カードか JAL navi カード。前者は、90 日以内の海外旅行時に 300 万円の治療費用補償・救援者補償が自動付帯。大学生協 TUO、学士会 Citi、MUFU、楽天、NICOS、AMEX、SBI、Yahoo 等は海外旅行保険が自動付帯しない。

<sup>4</sup> 新生銀行、シティバンク銀行(2015 年時点)等。現象傾向か、要確認。

<sup>5</sup> 「緊急時のみ」等の使用ルールの誓約とご家族の厳格な支払額管理が必須。

<sup>6</sup> 大黒屋ブランド館札幌店やトラベレックス国際送金プラザ札幌店(アスティ 45)等(2015 年時点)。